

産業応用フォーラム

「高速道路交通管制における画像情報の利活用」

概要：交通管制システムは、道路交通の安全、円滑、快適性の確保に大きく貢献しています。その中で、最近は様々な用途でカメラの整備が進むと同時に、AI 画像処理に代表される画像処理技術の進展により、これまで見えなかった事象の検出も可能になるなど道路交通管制への画像情報の利活用も進んでいます。これらのことを踏まえ、画像情報を利用した高速道路交通管制における情報提供やその効果に関する調査・研究を目的として「高速道路交通管制における画像情報の利活用に関する調査専門委員会」（設置期間：2022 年 5 月～2024 年 10 月）を設置して、カメラ画像やカメラ映像を活用するシステムのみならず、画像処理技術を活用するシステムも含めて、交通管制システムの高度化に向けた調査・研究を行いました。本フォーラムでは調査専門委員会の調査結果について、報告書をもとに解説いたします。ご関係の皆様には、今後の技術開発や道路管理の一助になる内容かと思しますので、ぜひご参加ください。

日時：2025 年 10 月 2 日（木）13:50～16:55

会場：電気学会 会議室

東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8 階

JR 総武線（中央線各駅停車）市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分

TEL: 03-3221-7312

<https://www.iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf>

プログラム：

- 13:50 開会
- 13:50～14:00 総論 泉 隆（日本大学）
- 14:00～14:50 画像情報の利活用に関する現状 藤田友一郎（中日本高速道路）
三橋 美洋（名古屋高速道路）
- (休憩)
- 15:00～16:20 画像情報を活用したシステムの高度化 阿部 敦（オムロンソーシアルソリューションズ）
峯山 悟（サンリツオートメイション）
谷口 浩二（星和電機）
田子 和利（名古屋電機工業）
- 16:20～16:45 画像情報の分類整理と画像情報利活用の課題解決に向けて 安達 大助（電気技術開発）
- 16:45～16:55 質疑応答
- 16:55 閉会

司会進行：加藤 美彦（首都高速道路），山澤 純基（電気技術開発）

テキスト：電気学会技術報告 1586 号「高速道路交通管制における画像情報の利活用」をテキストとして使用します。希望者は、電気学会電子図書館(<https://www.bookpark.ne.jp/ieej/>)から各自で購入してください。

参加費： 会員(正員) ¥3,000- (税込) 非会員(一般) ¥4,000- (税込)

会員(准・学生員) ¥1,500- (税込) 非会員(学生) ¥2,000- (税込)

申込方法：電気学会ホームページからのお申込み（締切 9 月 25 日（木））：<https://www.iee.jp/blog/forum/>
現地参加のみです。申込フォームの参加形態欄は「現地参加」を選択してください。会場定員 40 名に達し次第、締め切らせていただきます。なお、定員を超えた場合には、会員を優先しますので、ご了承ください。（是非この機会に電気学会へのご入会をご検討ください。）

問合せ先：日本大学 泉 隆 e-mail: [izumi.takashi\(at\)nihon-u.ac.jp](mailto:izumi.takashi(at)nihon-u.ac.jp) ※(at)⇒@

参加費支払い方法：Web からのクレジットカードのみのお支払いとなります。

決済後は Web サイトにて領収書が発行されます。

主催：電気学会 産業応用部門 ITS 技術委員会（高橋 聡 委員長）